別記
第１号様式（第14条関係）

環境マネジメントシステム導入報告書

（　宛　先　）　京　都　府　知　事	2022年　7月　29日
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 京都府綾部市城山町７番１	氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名） 三ツ星ベルト技研株式会社 綾部生産システム開発センター 代表取締役　竹田　和浩

環境マネジメントシステムの名称	ＩＳＯ１４００１（２０１５年度版）
適用範囲	綾部工場
導入年月日	2002年　1月　19日
認証番号	4539951
基本方針	三ツ星ベルトグループは、全ての事業活動において、「人を想い、地球を想う」の基本理念のもとに、①環境管理システムの維持 ②コンプライアンス義務の履行 ③ステークホルダーとの協力 ④技術力の活用 ⑤継続的改善の実施 の５項目を中心に、持続可能な社会の実現を目指し、地球規模の視野に立った環境保全活動を行い、社会に貢献する企業づくりを推進する。
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	①2021年度Co2排出量低減の取り組み(2013年度実績20%以下) ・電力Co2　6,309/Co2以下 ・重油Co2　6213.9/Co2以下 ②エネルギー使用量原単位低減の取組(2020年度実績以下) ・電力　3,934kwh/t以下 ・蒸気　12.845t/t以下 ③ゼロエミッション維持 ・埋立処分率　1.0%以下
目標を達成するための取組の内容	省エネルギー(Co2) ・Ｅ棟エアーコンプレッサー(2台)更新 ・精練3号混練ライン用生産チラー更新 ・6，7号ボイラー更新 廃棄物排出量の削減 ・ゼロエミッション継続維持
目標を達成するための取組の進捗状況	省エネルギー(Co2) ・Ｅ棟エアーコンプレッサー更新を実施済 ・精練3号混練ライン用生産チラー更新を実施済 ・6，7号ボイラー更新を実施済 廃棄物排出量の削減 ・ゼロエミッション継続中
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	2021年度はCo2排出量、エネルギー使用量原単位ともに目標を達成。廃棄物ゼロエミッションの継続維持についても目標達成。 今後の継続課題として、蒸気廃熱回収や漏洩対策、電力使用量については、空調、ユーティリティー設備などの運転管理の見直しによる低減が必要。
事業活動に係る法令の遵守の状況	関連法規の尊守状況について３ヶ月に１回確認を行っている。これまでに違反及び行政当局からの指摘はなかった。
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	環境方針、規定、要領の大きな見直しは必要ない。国内の廃プラ処理を取り巻く状況は、依然として厳しい状況である。新規業者調査をはじめ、情報収集に努めると共に、引き続きリサイクルの推進、再資源化転用の検討を進めて、産廃処理費用のコスト削減を図ること。エネルギー使用量削減に関しては、電力、蒸気、共に、目標達成することができた。2022年度も、2021年度原単位実績以下を目指し、施設課を中心に改善活動（省エネ、蒸気漏れ対策など）に引き続き努めること。

注　認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。